

論文 / 著書情報  
Article / Book Information

題目(和文)	保育施設における地域開放の展開にみる地域に開かれた保育空間の実践とその意義
Title(English)	
著者(和文)	藤田悠
Author(English)	Yu Fujita
出典(和文)	学位:博士(工学), 学位授与機関:東京工業大学, 報告番号:甲第12917号, 授与年月日:2024年9月20日, 学位の種別:課程博士, 審査員:那須 聖,斎尾 直子,真野 洋介,坂村 圭,沖 拓弥
Citation(English)	Degree:Doctor (Engineering), Conferring organization: Tokyo Institute of Technology, Report number:甲第12917号, Conferred date:2024/9/20, Degree Type:Course doctor, Examiner:,,,,
学位種別(和文)	博士論文
Category(English)	Doctoral Thesis
種別(和文)	論文要旨
Type(English)	Summary

(博士課程)

Doctoral Program

## 論文要旨

THESIS SUMMARY

系・コース： Department of, Graduate major in	建築学 都市・環境学	系 コース	申請学位（専攻分野）： Academic Degree Requested	博士 Doctor of	（工学）
学生氏名： Student's Name	藤田 悠		審査員主査： Chief Examiner	那須 聖	

### 要旨（和文 2000 字程度）

Thesis Summary (approx.2000 Japanese Characters )

本論文は、「保育施設における地域開放の展開にみる地域に開かれた保育空間の実践とその意義」の題目のもと以下の6章から構成されている。

第1章「序」では、近年保育所やこども園でみられる地域住民に門戸を開く多様な取り組みを地域開放と総称し、保育環境を維持するための空間的な工夫を要する点、これまでと異なる様々な保育の場面を生んでいる点から保育空間の新たな実践として注目されることを述べた上で、園児や保育に関わるステークホルダーに主眼をおいた意義が明らかでないこと、保育施設計画における議論が十分でないことを指摘している。これを背景とし、保育における意義および空間運用を明らかにすることで地域に開かれた保育空間の実践とその意義を考察し、保育施設計画の主題として地域開放を捉える本論文の目的と意義を示している。

第2章「少子化対策関連施策方針にみる保育施設と地域との関係の志向」では、国の少子化対策関連施策方針に関する行政文書28件を対象とした文献調査から、行政の構想する子育て環境の変遷を捉え、その中で志向されてきた保育施設と地域との関係を検討している。1990年から2020年までを9つのフェーズに分割し、フェーズごとの重点施策の分布を典型的にみるとともに、2021年以降を第10フェーズとして施策方針の転換を捉えた。保育施設と地域との関係について、保育施設が在園家庭に限らない地域全体を支援することが早くから具体的に目指され、その後、子育て支援に地域の力を生かすため保育施設を開かれたものとし多様な主体に参加を促す構想が示されたものの具体化には至らなかったこと、および、それと平行して、設置運営主体に関する規制緩和や立地に関する規制緩和が段階的に続けられ、保育施設と地域との接触機会の可能性は増加・多様化の一途を辿っていたことを明らかにしている。

第3章「東京都特別区内保育施設における地域開放の実態」では、東京都特別区内保育施設845件を対象とした悉皆アンケート調査の回答169件から、2019年度中に対象保育施設が実施した園外からの立ち入りを受け入れる機会310件の活動の内容および来訪者の属性を整理し、それらの組み合わせに基づき抽出した地域開放278件を分析することで地域開放の実態を検討している。活動の種類それぞれに対する来訪者の種類の広がりや、園ごとの活動の広がりやを分析し、第2章の結果と対照することで、実際の保育現場では行政の志向では明確に示されていない多様な地域との関わりがあることを示し、保育施設における地域開放が社会的要請への対応にとどまらない保育施設の主体的な意図により実施されているものと考えられることを指摘している。

第4章「保育所建設反対事例にみる保育施設に対する地域住民の認識」では、1945年以降の新聞記事619件を対象とする文献調査から抽出した全国における保育所への建設反対事例15件について、住宅地図を対象とする文献調査から得た立地周辺環境ごとに記事記載内容を整理することで、保育施設に対する地域住民の認識を検討している。保育所への建設反対のピークが1970年代と2010年代後半に確認できることを示し、後者における記事記載内容の傾向を第2章の結果と対照することで、自らの地域の交通や需要に合わないものとして保育施設を捉える地域の認識等を見出すとともに、第3章の結果との対照から、保育施設を必ずしも自らに関係するものと捉えているとは限らない地域の多様な人々と能動的に関わりをもつ保育施設の実践として地域開放を位置付けている。

第5章「地域開放の具体事例にみる地域に開かれた保育空間の実践とその意義」では、2024年に東京都特別区内保育施設5園を対象に実施した訪問インタビュー調査の回答および2019年に都内保育施設1園を対象に実施した訪問インタビュー調査の回答から得た地域開放の具体事例12件について、保育における価値を明らかにし、それを成立させる空間運用との対応から地域に開かれた保育空間の実践とその意義を考察している。間仕切り等を動かし園舎内の広い空間を活かす、仮設的な設えにより用途を転換する等、保育空間そのものを開く運用の工夫とともに、非対称なセキュリティにより保育空間の近くに地域の人を招き入れることを可能にする等、具体的な運用を織り込んだ計画による工夫を見出し、開かれた保育空間の実践について、園児の育ちや保育士のやりがい等、保育に関わる多様な意義を明らかにしている。

第6章「結」では、各章で得られた知見を総括した上で、保育に関わるステークホルダーの視点にたった地域開放の意義および保育空間の実践における役割と今後の展望について述べている。行政の立場からは、保育施設が自らの空間や人員を活用して地域の活動やコミュニティに貢献する実践としての意義を、地域住民の立場からは、保育施設が自らの空間や人員を活用して地域の活動やコミュニティに貢献する実践としての意義を、そして保育施設の立場からは、個別の保育施設が地域に存在する人的資源を発掘し自らの理念に合う活動を介して園内に招き入れることで保育の質を高めようとする創発的な保育実践としての意義を地域開放に見出した。

備考：論文要旨は、和文2000字と英文300語を1部ずつ提出するか、もしくは英文800語を1部提出してください。

Note: Thesis Summary should be submitted in either a copy of 2000 Japanese Characters and 300 Words (English) or 1 copy of 800 Words (English).

注意：論文要旨は、東工大リサーチリポジトリ(T2R2)にてインターネット公表されますので、公表可能な範囲の内容で作成してください。

Attention: Thesis Summary will be published on Tokyo Tech Research Repository Website (T2R2).

(博士課程)  
Doctoral Program

## 論文要旨

THESIS SUMMARY

系・コース： Department of, Graduate major in	建築学 都市・環境学	系 コース	申請学位(専攻分野)： Academic Degree Requested	博士 Doctor of	(工学)
学生氏名： Student's Name	藤田 悠		審査員主査： Chief Examiner	那須 聖	

### 要旨 (英文 300 語程度)

Thesis Summary (approx.300 English Words)

In recent years, a number of childcare facilities in Japan are making attempts to have contact with local communities in various ways within their premises. Defined as community involvement in this study, those practices are assumed to be realized under the spatial efforts of keeping the space safe and comfortable, as well as to generate unique settings in spaces for childcare. While those have been one of the subjects in the precedent studies and the administrative documents, the significance for the childcare itself and the stakeholders including the enrolled children is yet to be discussed. This study clarified the methods and the significance of community involvement in childcare facilities, to give a new framework to take it as a theme of the field of architectural planning.

In Chapter 2, the potential policy measures shown in 28 administrative documents related to countermeasures to the falling birthrate from 1990 to 2020 were classified, and the transition of the relationship between childcare facilities and local communities aimed by the government was described under four major disciplines.

In Chapter 3, the 310 actual cases of contact with outsiders collected from the questionnaire survey conducted in the special wards of Tokyo were classified under the indexes of activity description and visitor's attribute, and the diversity of community involvement was systematically described as 29 types.

In Chapter 4, the texts of 65 newspaper articles on 15 cases of opposition to the construction of nursery schools after 1945 were inspected, and community involvement by childcare facilities was placed as the attempt to build a relationship with the local community driven by their active willingness rather than by requirement from the government and the society.

In Chapter 5, 12 cases of community involvement collected from the interviews conducted in the special wards of Tokyo were studied, and the methods and values of community involvement were discussed.

In Chapter 6, the results from each chapter were concluded by stating the significance of community involvement from the viewpoint of three different stakeholders including the childcare facilities themselves, the local communities, and the government.

備考：論文要旨は、和文 2000 字と英文 300 語を 1 部ずつ提出するか、もしくは英文 800 語を 1 部提出してください。

Note: Thesis Summary should be submitted in either a copy of 2000 Japanese Characters and 300 Words (English) or 1 copy of 800 Words (English).

注意：論文要旨は、東工大リサーチリポジトリ(T2R2)にてインターネット公表されますので、公表可能な範囲の内容で作成してください。

Attention: Thesis Summary will be published on Tokyo Tech Research Repository Website (T2R2).